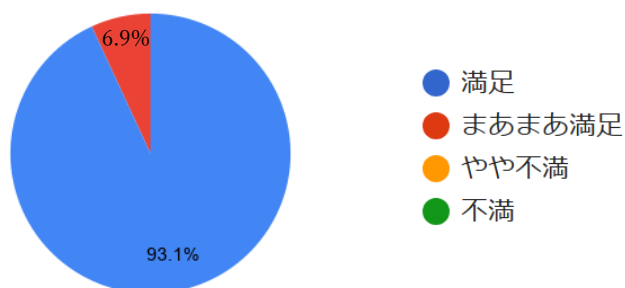


★夏休みよ永遠に・・・★

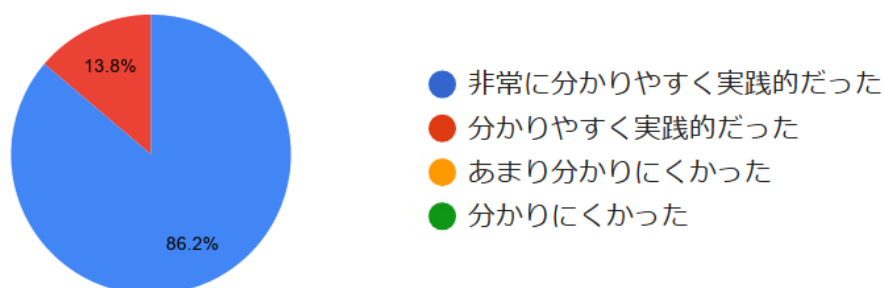
前号の続きになります。今回は、8月の研修のアンケート結果です。TM 事業に向けて本格的に動き出していく2学期。研修で得た学びをしっかりとふり返し、行動に移していけるように鳥取中学校教員一同頑張っていきましょう！！

<アンケート結果>

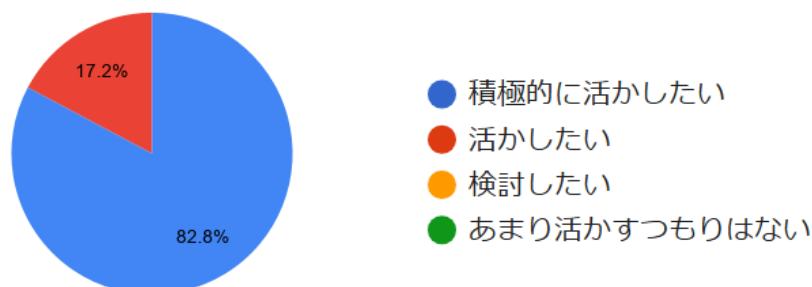
1：本日の研修内容について、満足度はどの程度でしたか



2：本日の研修の内容は、分かりやすく実践的なものでしたか



3：本日の研修の内容を、今後の授業や学力向上の取組に活かそうと思いますか



4：研修を受けての感想（一部抜粋）

- ・自分は何を思って教員をしているのか、どうやってやるのか、どんなルールがあるのかをしっかりと核として持って行かなければならないと思いました。
- ・アクティブラーニングの実践について活動をとおして、安田先生の研究実践メソッドがよくわかりました。2学期からの生徒との関わり、同僚との関わりを大切に、授業や学年活動、部活動に「自分がワクワクすることを生徒たちに」提案し、一緒に楽しんでいきます。
- ・子どもたちの安心できる場となるような学校になればいいと思います。2学期からの授業で、子どもたちが協力できる場面をたくさん作りたいと思いました。
- ・自分自身がすっきりせずにもやもやしながら授業に取り組んでいたのも、目の前が明るくなった気分です。
- ・今日の研修で、グループであることの意義やコミュニティをつくる良さを感じることができた。その中でも個々を大切にすることや、グループにも発達段階があることを知り、学級や学年づくりに活かしたいと感じた。生徒のニーズを汲み取り、多くの手法や教材の引き出しを持って、授業などをできるようになっていけばいいと思った。
- ・AIの技術が進歩する中で、学校で学ぶ意義を常々考えさせられます。集団（グループ）活動で体験したことを通して、倫理やモラルを学ぶことが学校でなければならないことではないのだろうかと感じます。今日の講義や体験を通して、学びに必要なものを体感できました。
- ・実際に参加者全員でプログラムに取り組めて、楽しめたのと同時に、子どもたちともワクワクできる経験を一緒にできたらいいなと思いました。改めて目の前の子どもとの対話を大切にしながら、向き合っていきたいと思います。
- ・体験型学習法が持つ可能性と、教育現場における教師の役割の重要性を改めて感じました。授業の中で知識を伝達するだけではなく、児童・生徒同士の「なかまづくり」を促す視点を欠かすことができないことも講義の中の体験で実感することもできました。
- ・今回お話いただいた内容はまさに今目の前の生徒や学校全体に必要なものだと感じました。自分のことしか考えない、あるいは考えられない。他者との関わりを避けたり、利他的な考え方を持つことができなかったりするという生徒が一昔前よりも確実に多くなったと感じます。それと同時に学校がそのような課題を解決する場であるということも実感しました。
- ・今クラスがどの段階かをしっかりとアセスメントする。そして段階に応じて教師の関わり方を変えることが大切だと再認識することができました。少しレベルの高いことや自分の理想をクラスに求めているかもしれないと反省です。それぞれの段階でどのような手立てを行うかを夏休み期間に考え、2学期から実践していきたいと思います。